

美園小だよ

美園小の児童のため

- 自分の考えを見つけ、さらに深めあおう
- 自分にはきびしく、人にはやさしくしよう
- ねばり強くやりとげよう

☆☆

学校評価アンケートの結果から

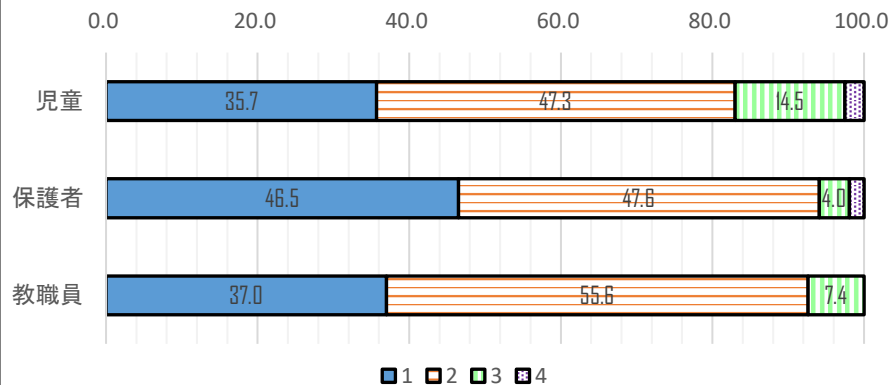
令和3年度の学校評価アンケート(児童・保護者・教職員)の結果についてご紹介します。保護者の皆様のご理解とご協力で深く感謝しております。アンケート結果については、2月上旬の年度末反省会議で今年度の成果と課題、次年度の改善の方向性を検討し、2月中旬の学校関係者評価委員会でPTAや地域の方々からご意見をいただき、次年度の学校経営方針と改善の方策に反映させていただきます。ご家庭や地域の皆様におかれましては、今後も様々な機会にご意見やご助言をいただければ幸いです。なお、質問8の幼保中連携はコロナ禍で実施できませんでした。

令和3年度 苫小牧市立美園小学校 学校評価アンケート集計結果

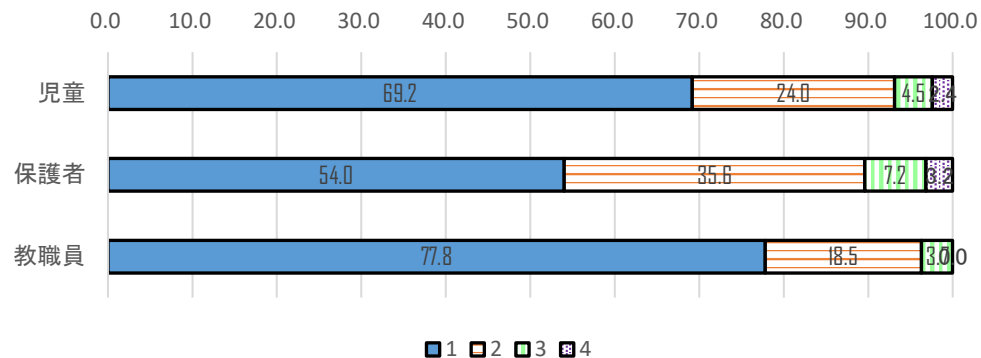
1十分当てはまる 2まあ当てはまる 3あまり当てはまらない 4当てはまらない (%)

		アンケート項目	当てはまる割合	1	2	3	4	
1	児童	わたしは、国語や算数などの勉強がよく分かる。	83.0	35.7	47.3	14.5	2.5	100
	保護者	学校は、学習内容が身に付くように分かりやすい授業に努めている。	94.1	46.5	47.6	4.0	1.9	100
	教職員	学校は学習内容が身に付くように分かりやすい授業を行っている。	92.6	37.0	55.6	7.4	0.0	100
2	児童	先生は、週に1回以上タブレットを使った授業を行っている。	93.1	69.2	24.0	4.5	2.4	100
	保護者	学校は、週に1回以上タブレットを活用した授業に努めている。	89.6	54.0	35.6	7.2	3.2	100
	教職員	学校は、週に1回以上タブレットを活用した授業を行っている。	96.3	77.8	18.5	3.7	0.0	100
3	児童	先生は、自分のことを分かってくれて、自分に合った教え方をしている。	90.8	52.9	37.9	6.6	2.6	100
	保護者	学校は、一人一人の特性を理解し、個に応じた指導に努めている。	86.8	32.9	53.9	9.6	3.5	100
	教職員	学校は、一人一人の特性を理解し、個に応じた指導が図られている。	96.3	33.3	63.0	3.7	0.0	100
4	児童	先生は、困ったときや悩んでいるときに相談にのってくれる。	93.0	59.1	33.9	6.4	0.6	100
	保護者	学校は、児童が困ったときや悩んでいるときに相談にのり、解決の手立てを講じるよう努めている。	88.5	41.4	47.1	9.5	2.0	100
	教職員	学校は、児童が困ったときや悩んでいるときに相談にのり、解決の手立てを講じている。	100.0	55.6	44.4	0.0	0.0	100
5	児童	私は、友達にいやなことや意地悪をしないで、楽しく生活している。	88.9	53.3	35.6	9.4	1.7	100
	保護者	学校は、児童が楽しく安全・安心に学校生活を送れるように努めている。	93.6	50.6	43.1	5.2	1.2	100
	教職員	学校は、児童が楽しく安全・安心に学校生活を送れるように支援している。	100.0	59.3	40.7	0.0	0.0	100
6	児童	わたしは、「早寝・早起き・朝ごはん」などに気を付けた生活をしている。	74.5	37.6	36.9	17.1	8.4	100
	保護者	学校は、児童が「早寝・早起き・朝ごはん」を行えるような働きかけに努めている。	94.0	47.0	47.0	6.0	0.0	100
	教職員	学校は、児童が「早寝・早起き・朝ごはん」を行えるように支援している。	96.2	48.1	48.1	3.7	0.0	100
7	児童	先生は、先生以外の人がお話をする授業や地域に出かけて行う授業を行っている。	88.1	49.7	38.4	8.9	3.0	100
	保護者	学校は、講師を招いたり地域に出向いたりする授業を行っている。	87.8	41.5	46.2	11.5	0.7	100
	教職員	学校は、講師を招いたり地域に出向いたりする授業を行うように努めている。	96.2	48.1	48.1	3.7	0.0	100
9	児童	わたしは、家の人に、学年・学級通信などのおたよりを渡し、学校の様子を伝えている。	89.6	58.5	31.1	7.5	2.9	100
	保護者	学校は、お便りやホームページ、メール連絡等を通して、学校の取組や情報を発信している。	94.1	58.2	35.9	4.1	1.8	100
	教職員	学校は、お便りやホームページ、メール連絡等を通して、学校の取組や情報を発信している。	100.0	55.6	44.4	0.0	0.0	100
10	児童	私は、毎日のホームワークを頑張っている。	79.7	48.8	30.9	12.1	8.2	100
	保護者	学校は、ホームワークや家庭学習強化週間を通して、子どもたちに家庭学習の習慣が身に付くように努めている。	95.5	60.5	35.0	3.3	1.2	100
	教職員	学校は、ホームワークや家庭学習強化週間を通して、子どもたちに家庭学習の習慣が身に付くように働きかけている。	96.3	66.7	29.6	0.0	3.7	100
11	保護者	学校は、保護者に対して働き方改革への理解や協力を求める取組を実施している。	92.6	43.1	49.5	6.5	0.9	100
	教職員	学校は、時間外勤務の縮減等、勤務時間を意識した取組やコアチームをつくり業務改善や業務の効率化を図る取組を実施し、保護者への働きかけもしている。	88.8	44.4	44.4	11.1	0.0	100
11	児童	わたしにはよいところがある。	78.0	41.3	36.7	13.9	8.1	100

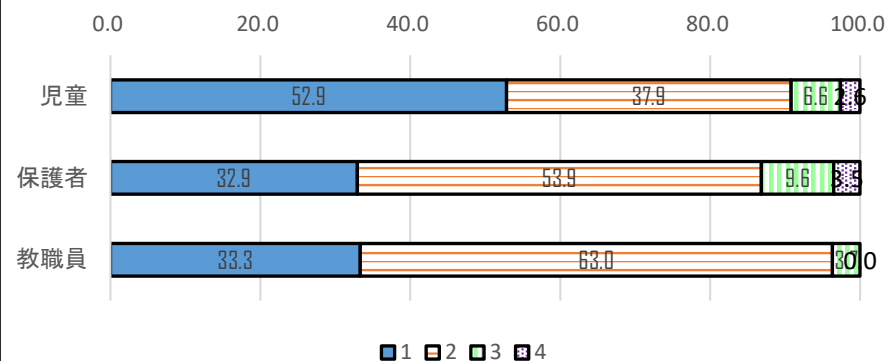
1. 分かりやすい授業



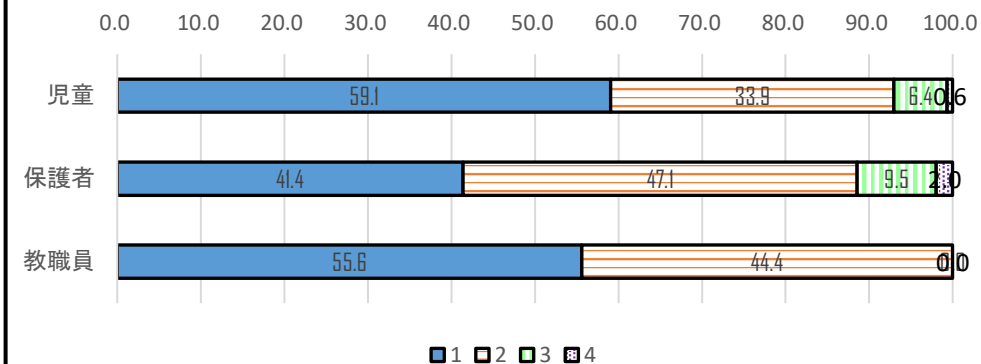
2. タブレット活用授業



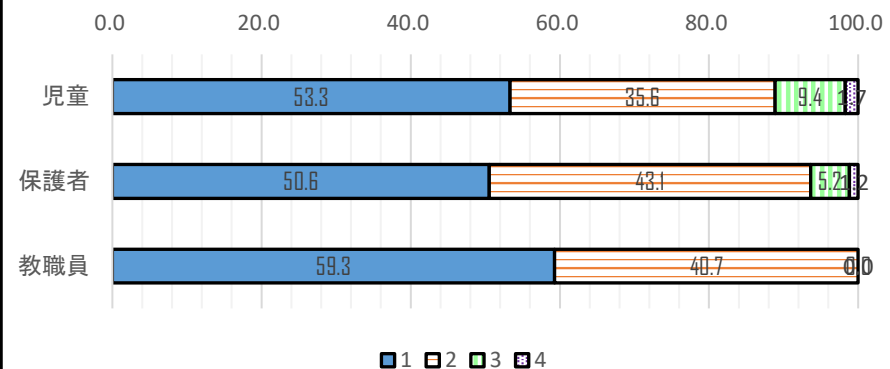
3. 個に応じた指導



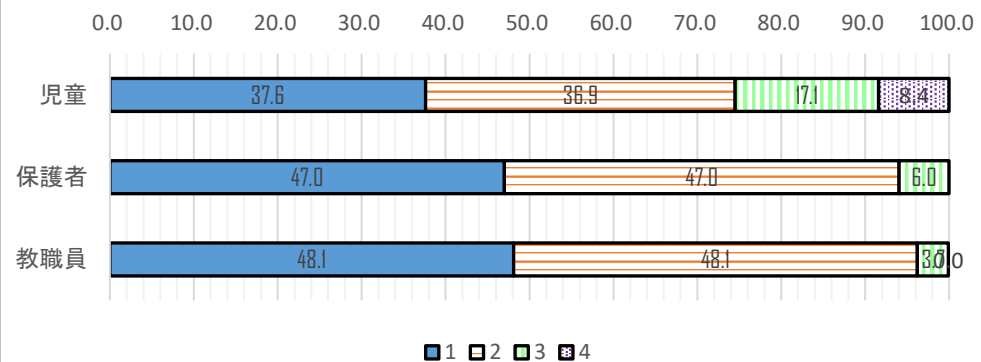
4. 相談しやすい環境



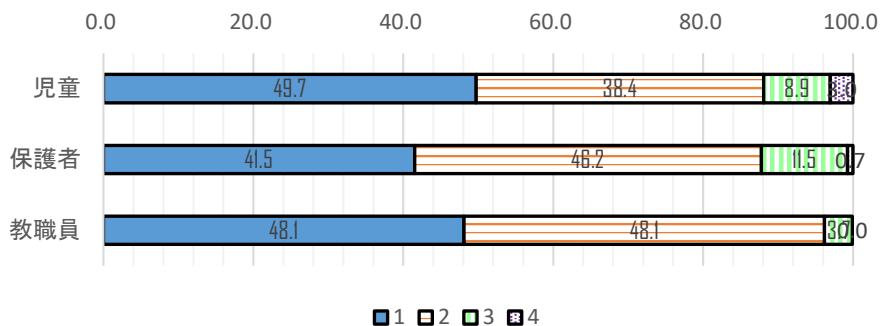
5. 楽しく安全・安心な学校生活



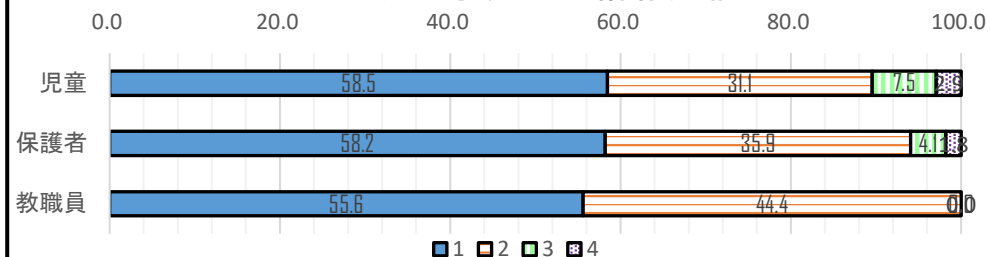
6. 基本的な生活習慣



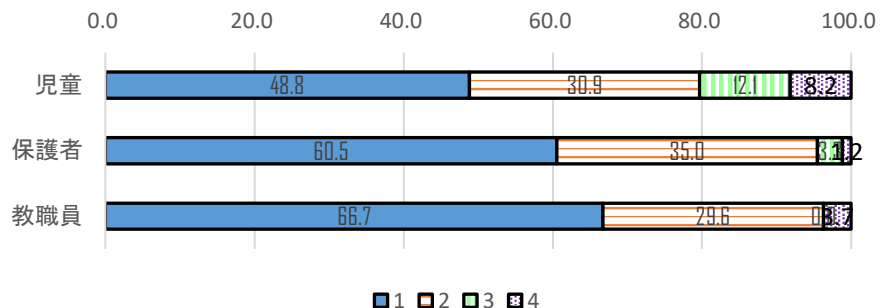
7. 多様な人材活用



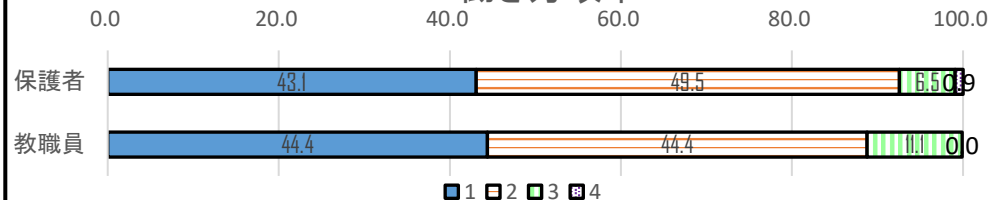
9. 地域や家庭への情報発信



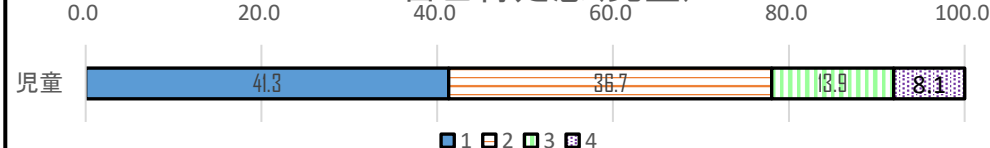
10. ホームワーク



11. 働き方改革



11. 自己肯定感(児童)



全てのアンケートで、1+2(肯定的意見)の割合が80%以上なら、だいたい満足のいく結果を言うことができる。

◎成果

- 学校生活で最も時間を費やしているのが授業時間。そこで授業が分かると答えた割合が中間評価を上回り、児童83%(保護者94.1%)【教職員92.6%】と高い数値となった。先生方が教材研究を行って、工夫を重ねながら丁寧に分かりやすく説明した成果だと言える。
- 中間評価では学級や学年による差が少し見られたが、年度末になりどのクラスもタブレットを活用した授業が当たり前のように行われている。また、研修部でも先を見通して活用方法に対する実技研修を行うことで、教職員の技術向上につながっている。
- 前期の課題だった『外部講師や地域に出向く授業』は、フィールドワークや書き初め・福祉関係等で多くの外部講師を招くことができ、子どもたちにとって刺激を与えるような授業になった。
- 前期同様、いじめやその他何か問題が起きたときにすぐに先生に相談できる関係ができているのは大変よかった。これからも、子どもたちの変化に目や耳を傾け、相談しやすい環境をつくっていききたい。
- 「働き方改革」については、コア委員会を設置して教職員からの意見も取り入れながら進めていくことができた。

◎課題・次年度に向けて

- 『早寝・早起き・朝ごはん』については、教職員や保護者は94%以上の高い数値となったが、児童は74.5%と最も低い数値となった。担任の指導以外に、養護教諭や栄養教諭による専門的な指導も必要である。また、意識付けを図るために、生活リズム週間の取組を増やすことも考えられる。
- 『超過勤務』についても、「月45時間以内」「年360時間以内」を遵守できるよう、仕事の軽重を考えて互いに連携しながら進めていきたい。
- 『体力テスト』についても1回目の課題だった「反復横跳び」と「立ち幅跳び」の記録を再度計測したので、それを受けて検証・改善を図っていく。
- 「ホームワーク」については、教職員や保護者は95%以上の高い数値となったが、児童は79.7%と低い数値となった。児童の意識を高める言葉掛けを行いながら、今後とも家庭の協力をお願いしていく。
- 「自分の良さ」(自己肯定感)は、78%と低い数値となった。自己肯定感を高めるための取組を考えて自分のよさを知って、自信をもって生活できるような意識化を全教育活動を通して図っていく。